

表Ⅱ-67 世帯構成別にみた参加している活動（類型）	132
表Ⅱ-68 世帯構成別にみたかさむもの（複数回答）	134
表Ⅱ-69 世帯構成別にみたきりつめているもの（複数回答）	134
表Ⅱ-70 世帯構成別にみた健康状態（複数回答）	136
表Ⅱ-71 階層構成別にみたまちづくりを進める上で 必要と思われる条件（複数回答）	138
表Ⅱ-72 活動類型別にみたまちづくりを進める上で必要と思われる条件（複数回答）	139

I. 調査の目的と方法

I. 調査の目的と方法

1. 調査の目的と課題

今回の調査は、南丹市社会福祉協議会が2009（平成21）年3月に策定した、「地域福祉活動指針」の実現並びに2014（平成26）年に策定予定の次期指針の基礎的な資料として、きめ細かな市民のくらしの実態と、そこから提起されるくらしの課題を明らかにすることを目的に行った。

「地域福祉活動指針」は、「誰もが人間らしく安心して住み続けられるまち、誰もが住みやすいまち」を目標に、住民が主体となって進める福祉のまちづくりのための地域福祉活動を進めていく計画であり、南丹市行政により2008年（平成20）年3月に策定されている「地域福祉計画」と連動しながらも、住民レベルでのより具体的な活動を進めていくための指針である。

この指針で広げようとしているのは、住民が主体となって進める福祉のまちづくりのための地域福祉活動である。この活動は、住民のくらしの場としての地域の特性をふまえ、住民のくらしの課題に対応して、住民の自治をよりどころにすすめる活動である。

今回調査では、それぞれの地域の特性と課題を科学的で、かつトータルにとらえ、地域福祉活動を進めていく上での取り組む方向を明らかにするとともに、活動を進めるための基本的条件についても明らかにすることを目的としている。

！地域福祉とは！

地域福祉は、地域における生活問題への対策として進められる社会保障の一環としての社会福祉（政策）であるとともに、まちづくりの一環でもある。

このような地域福祉を進めるには、①常にくらしの場である地域の実態を明らかにし、②誰もがくらしやすい条件と内容を引き出すため、③住民が共通して取り組む課題に対して、④組織的集団的取組である地域福祉活動を通じて、⑤参加と協力、対話と共同を広げていくことが基本となる。

2. 調査の視点と方法

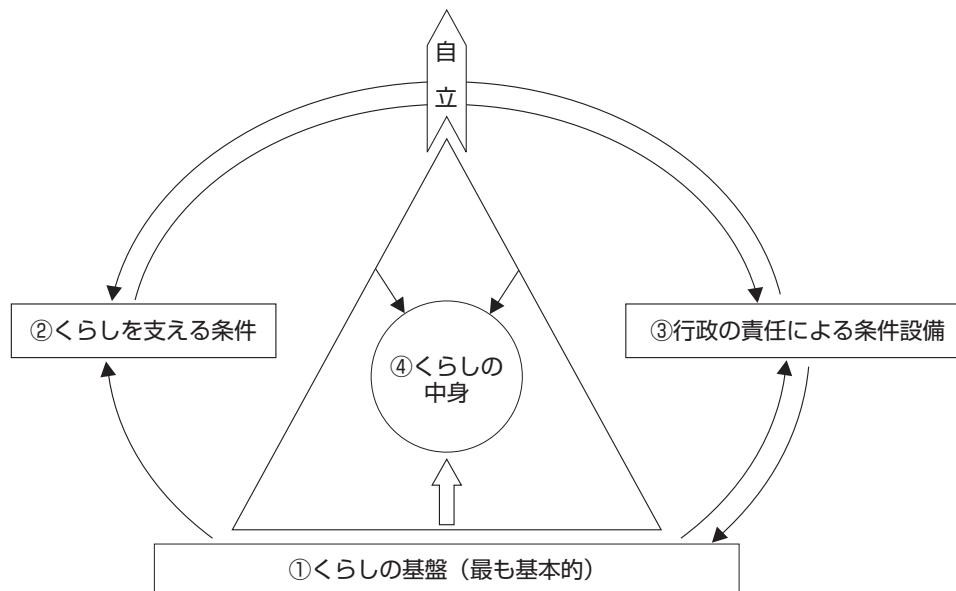
調査を進めるにあたっては、生活問題をとらえるための基本的な枠組として三塚武男によって作成された、図I-1の「生活問題をとらえる枠組み」を参考とした。

この枠組みは、①くらしを成り立たせている基盤である雇用・労働条件、②近所づきあいの程度や相談する相手、地域活動への参加の状況、③医療や福祉をはじめとした機関や施設の整備・利用状況などを関連づけながら、地域でのくらしの実態をとらえるものである。

今回調査では、この枠組みにそった調査項目を設定し調査票を作成した。調査票（Ⅲ資料を参照のこと）の設問項目と視点と枠組みとの関連については図I-2の通りである。

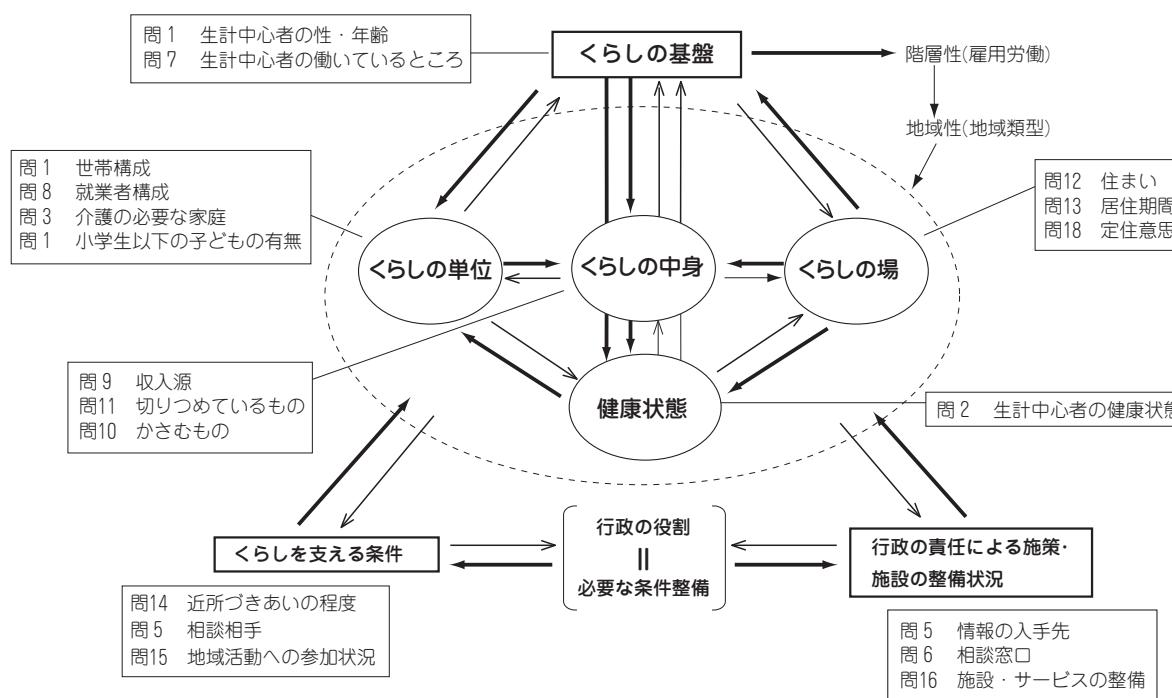
※調査の考え方や方法に関しては、三塚武男『住民自治と地域福祉』法律文化社、1992年、同『生活問題と地域福祉—ライフの視点から—』ミネルヴァ書房、1997年を参考としている。

図 I-1 くらしの問題（生活問題）をとらえる枠組みー「自立」の条件



- ①「くらしの基盤」一生計計中心者の就業・雇用の有無と労働条件、安全な道路・交通手段と住宅・生活環境施策、保健・医療体制⇒地域の階層性(どのような階層の住民がどれだけ住んでいるか)
 - ②「くらしを支える条件」→近所づきあいやくらしのことで相談をする相手、地域活動などへの参加・ボランティアなど⇒住民同士の横の交流や協力
 - ③「行政の責任による条件整備」⇒くらし・健康を支える公共的な生活手段
 - ④「くらしの中身」一世帯の規模や構成、居住期間、睡眠休養、健康状態

図 I-2 生活問題をとらえる視点と枠組（間の関係図）

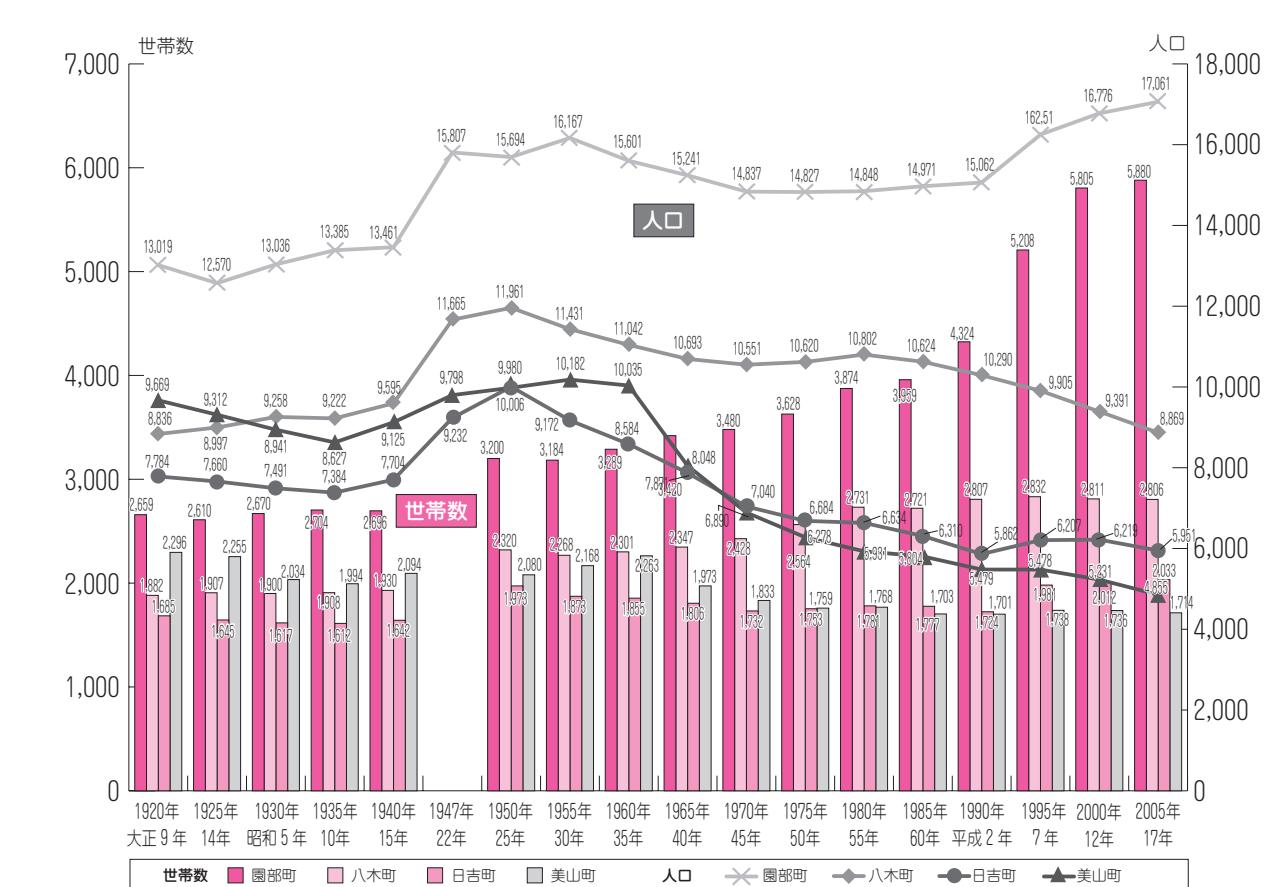


3. 南丹市の地域類型区分と調査地域の設定

南丹市は2006（平成18）年に園部町、八木町、日吉町、美山町の四町が合併し、京都市に次ぐ面積の自治体となっているが、旧四町それぞれのまとまりや特徴と、合併後の市としての広がりや、各集落の特徴とが入り混じった複雑な地域状況となっている。

図 I-3 人口・世帯数の推移

		大正 9年	14年	昭和 5年	10年	15年	22年	25年	30年	35年	40年	45年	50年	55年	60年	平成 2年	7年	12年	17年	人口 密度 (人/1km ²)	面積 (平6.10.1)	人口 密度 (人/1km ²)	面積 (km ²)
		1920年	1925年	1930年	1935年	1940年	1947年	1950年	1955年	1960年	1965年	1970年	1975年	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	1995年	2005年	1995年	2005年
世 帯 数	園部町	2,659	2,610	2,670	2,704	2,696		3,200	3,184	3,289	3,420	3,480	3,628	3,874	3,959	4,324	5,208	5,805	5,880				
	八木町	1,882	1,907	1,900	1,908	1,930		2,320	2,268	2,301	2,347	2,428	2,564	2,731	2,721	2,807	2,832	2,811	2,806				
	日吉町	1,685	1,645	1,617	1,612	1,642		1,973	1,873	1,855	1,806	1,732	1,753	1,781	1,777	1,724	1,981	2,012	2,033				
	美山町	2,296	2,255	2,034	1,994	2,094		2,080	2,168	2,263	1,973	1,833	1,759	1,768	1,703	1,701	1,738	1,736	1,714				
人 口	園部町	13,019	12,570	13,036	13,385	13,461	15,807	15,694	16,167	15,601	15,241	14,837	14,827	14,848	14,971	15,062	16,251	16,776	17,061	158.1	102.78	166.0	102.78
	八木町	8,836	8,997	9,258	9,222	9,595	11,665	11,961	11,431	11,042	10,693	10,551	10,620	10,802	10,624	10,290	9,905	9,391	8,869	199.2	49.72	179.0	49.56
	日吉町	7,784	7,660	7,491	7,384	7,704	9,232	10,006	9,172	8,584	7,871	7,040	6,684	6,634	6,310	5,862	6,207	6,219	5,951	50.3	123.34	48.2	123.50
	美山町	9,669	9,312	8,941	8,627	9,125	9,798	9,980	10,182	10,035	8,048	6,890	6,278	5,931	5,804	5,479	5,478	5,231	4,855	16.1	340.47	14.3	340.47



今回調査では、人口密度と一定の期間における世帯数の増減率をクロスさせた表 I-2-①から表 I-2-④を手がかりに、地域福祉推進指針における各委員会並びに関係機関へのヒアリング、既存の統計資料や町史などの資料などを用いながら、旧町毎の特徴も踏まえながら、社会福祉協議会職員とともに実際の地域を踏査した上で、最終的に以下の6つの類型に区分した。(表 I-1-①～⑤)

- I. 人口密度が高く世帯数が減少している地域（古くからの市街地・商業地）
- II. 人口密度がやや高く世帯数が減少（I の周辺に広がる古くからの住宅地）
- III. 人口密度は中位で世帯数が増加ないし横ばい
(宅地化が進んでいる新旧混合の農村地)
- IV. 人口密度は中位で世帯数が増加（新興住宅地・ニュータウン）
- V. 人口密度低く世帯数は横ばいか減少（農村の集落）
- VI. 人口密度低く世帯数が減少（山間の集落）

これら地域の類型は一つの地域においては決して固定されたものではない。新たな宅地の開発や再開発、あるいは産業の変化により常に変化をしていく。この40年間の地域の変遷を手がかりにしながらその関連と変化をみると、右上図 I-5 のようになるが、これら変化の方向をふまえながら、今後の地域福祉の課題をとらえていく必要がある。

なお、このような地域の特徴は、産業の構造や道路開発や鉄道開発、交通アクセス、住宅の開発などの歴史的・経済社会的条件によって生み出され、それぞれの地域に住まう人の構成を形成している。特に特徴的のは雇用労働者の増加であり、この変化は流出や流入、産業や就業の変化とともに、地域でくらす世帯の階層の構成を決定している点に留意することが重要である。(表 I-3)

表 I-1-① 南丹市 全域 行政区分別に見た地域類型区分表（赤字は調査地点）

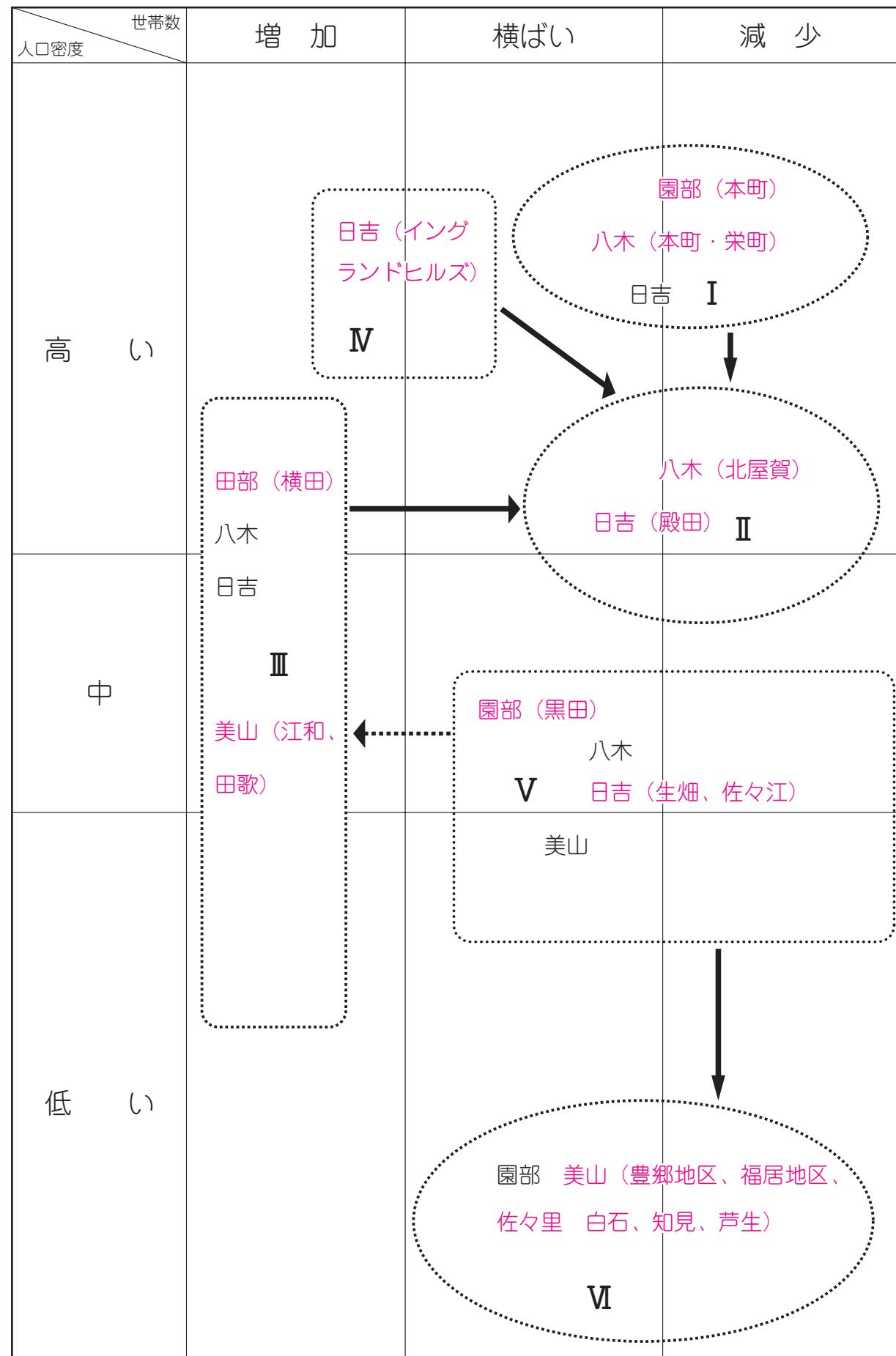


表 I-1-② 南丹市 園部 町の行政区別に見た地域類型区分表

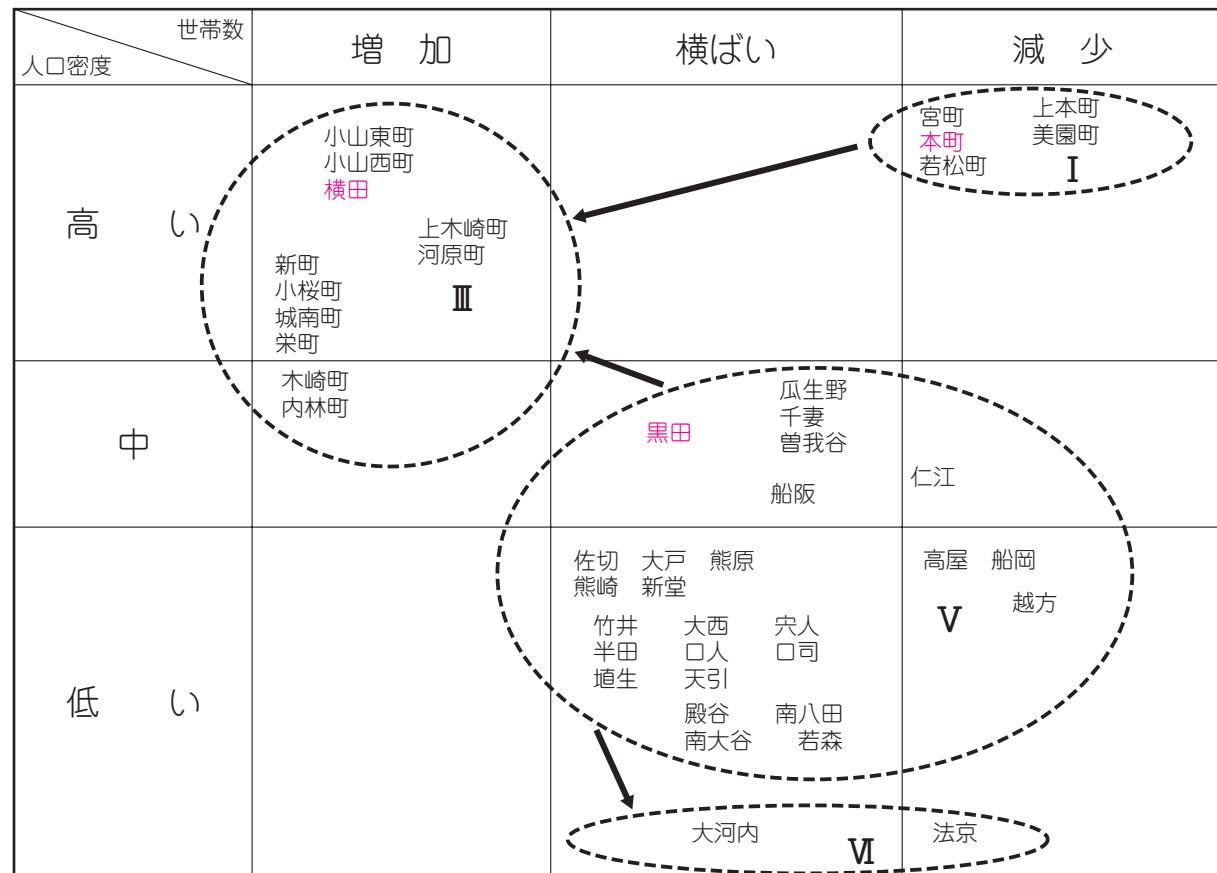


表 I-1-④ 南丹市 日吉 町の行政区別に見た地域類型区分

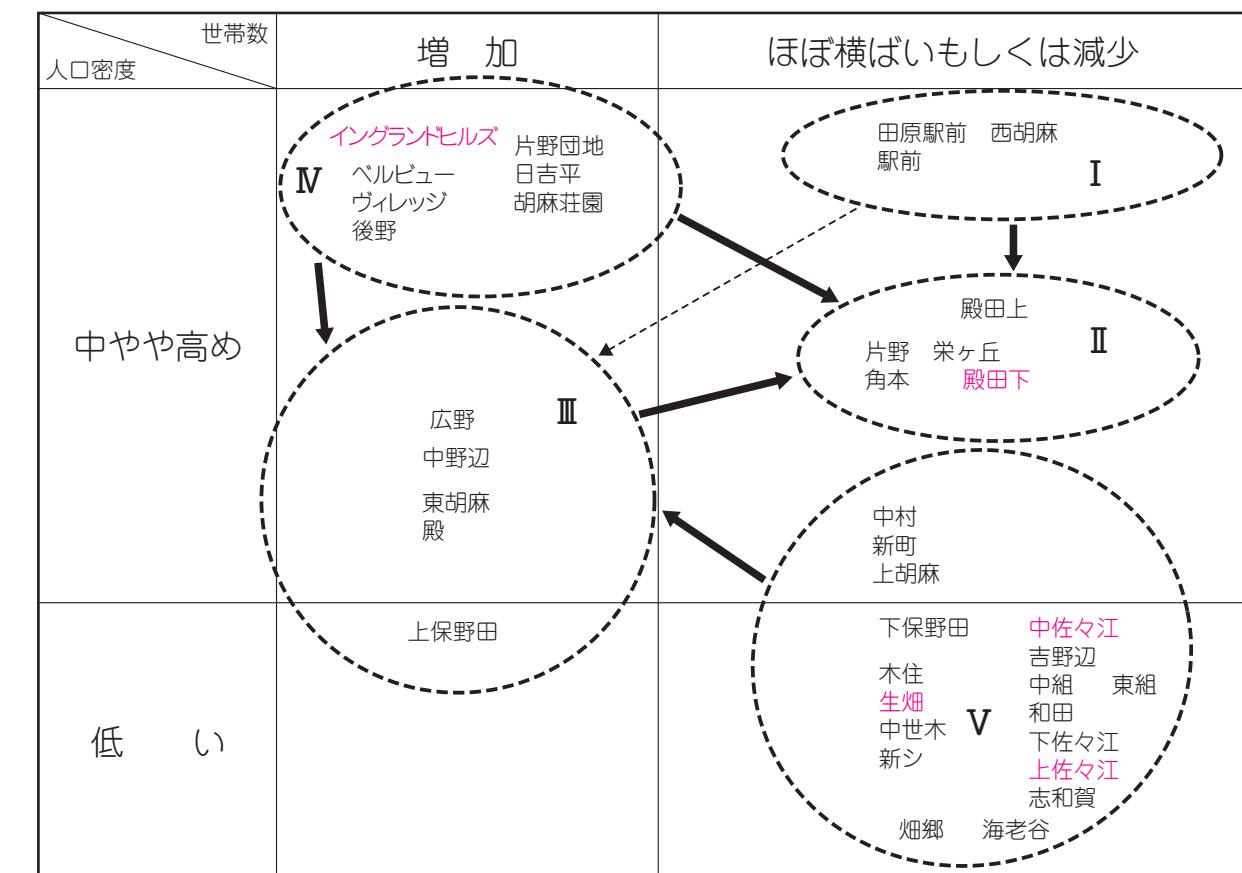


表 I-1-③ 南丹市 八木 町の行政区別に見た地域類型区分表

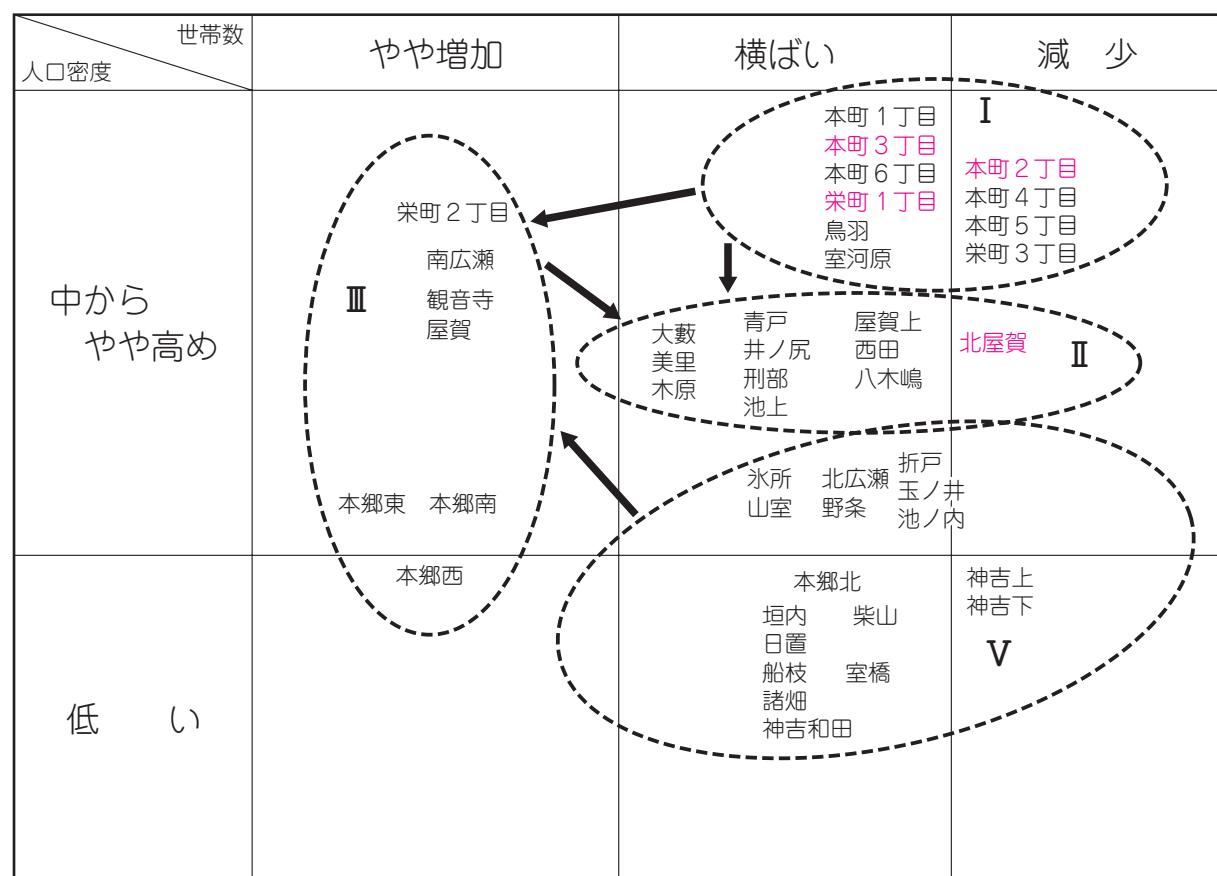


表 I-1-⑤ 南丹市 美山 町の行政区別に見た地域類型区分表

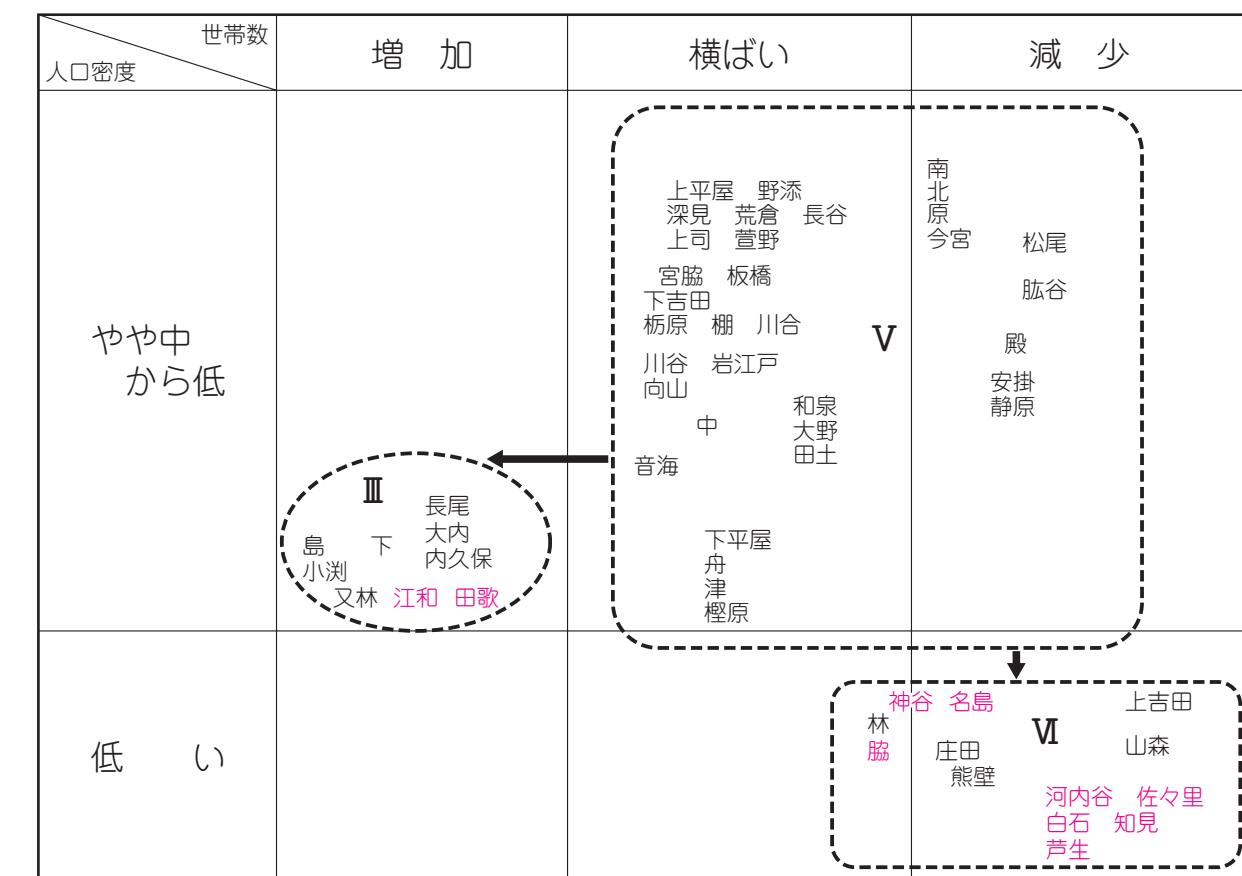


表 I-2 雇用労働者の推移（各年国勢調査より）

（単位：人）

年 度	町 名	就業者総数 A	雇用労働者 B	雇用労働者の割合 A/B
1975年	園 部 町	7,699	4,076	52.9
1995年		7,793	5,440	69.8
2000年		7,743	5,620	72.6
2005年		7,855	5,758	73.3
1975年	八 木 町	5,525	2,893	52.4
1995年		4,578	3,039	66.4
2000年		5,032	3,284	65.3
2005年		4,308	2,858	66.3
1975年	日 吉 町	3,642	1,800	49.4
1995年		3,173	2,054	64.7
2000年		2,922	1,962	67.1
2005年		2,866	1,944	67.8
1975年	美 山 町	3,481	1,766	50.7
1995年		2,835	1,670	58.9
2000年		2,544	1,543	60.7
2005年		2,431	1,417	58.3
1975年	南 丹 市 合 計	20,347	10,535	51.8
1995年		18,379	12,203	66.4
2000年		18,241	12,409	68.0
2005年		17,460	11,977	68.6
1975年	全 国	53,140,818	34,599,987	65.1
1995年		64,141,544	48,400,896	75.5
2000年		62,977,960	48,805,156	77.5
2005年		61,505,973	48,356,858	78.6

図 I-4 南丹市における集落の変化

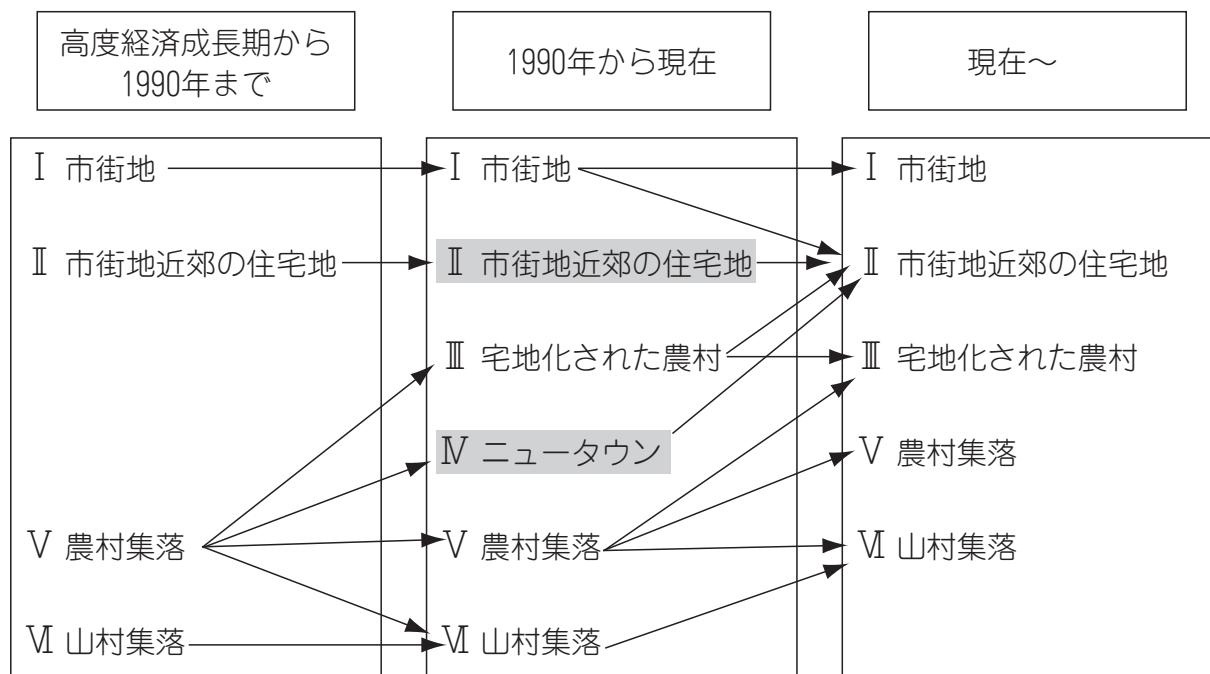


図 I-5 南丹市地図



表I-3-① 南丹市 園部町 の行政区別的人口密度と世帯数・人口の推移

(世帯数・人口は、国勢調査より) (※ただし、2010年は8月1日現在住民基本台帳より)

行政区名	(よみがな)	世帯数						人口	
		1990年(h2) A	1995年(h7)	2000年(h12)	2005年(h17) B	2010年※(h22)	1世帯あたりの人数	1990年(h2)	1995年(h7)
宮町	みやまち	106	113	101	92	79	2.2	306	297
上本町	かみほんまち	62	60	60	61	46	2.3	159	141
本町	ほんまち	92	87	73	70	68	2.8	322	277
若松町	わかまつちょう	145	146	117	122	121	2.3	409	386
新町	しんまち	225	266	283	291	219	2.4	576	621
元町地区		630	672	634	636	533		1,722	1,722
小山東町	おやまひがしまち	236	276	414	488	502	2.3	536	577
小山西町	おやまにしまち	288	536	702	731	789	3.0	911	1,700
栄町	さかえまち	271	352	422	365	285	2.2	785	854
美園町	みそのまち	277	273	256	250	194	2.1	720	644
小桜町	こざくらまち	306	361	410	379	356	2.4	994	1,053
城南町	じょうなんまち	121	144	155	157	200	2.6	462	484
横田	よこた	107	364	486	557	505	2.8	519	916
黒田	くろだ	66	67	63	64	72	3.6	298	296
元村地区		1,672	2,373	2,908	2,991	2,903		5,225	6,524
上木崎町	かみきざきまち	240	284	282	273	267	2.5	944	1,014
河原町	かわらまち	72	90	86	74	78	2.5	237	240
木崎町	きざきまち	220	282	405	418	374	2.4	816	863
内林町	うちばやしまち	68	65	64	88	210	2.5	239	237
瓜生野	うりうの	21	23	22	21	29	2.6	85	85
熊崎	くまざき	53	60	52	56	58	2.9	217	198
新堂	しんどう	40	41	44	47	46	2.9	185	178
千妻	せんづま	19	18	17	19	25	2.8	89	86
曾我谷	そがだに	42	43	44	47	56	2.7	168	175
元桐地区		775	906	1,016	1,043	1,143		2,980	3,076
船岡	ふなおか	160	172	148	144	158	3.0	563	570
高屋	たかや	39	37	42	34	39	3.3	149	143
大戸	おおど	17	18	18	19	20	3.0	88	84
熊原	くまはら	25	24	24	23	31	2.7	104	91
佐切	さぎり	18	26	29	28	21	3.3	82	96
越方	おちかた	29	20	20	22	29	2.4	108	86
川辺地区		288	297	281	270	298		1,094	1,070
竹井	たけい	122	115	117	116	133	3.0	514	493
仁江	にえ	84	83	80	75	91	2.8	338	306
船阪	ふなさか	64	63	64	64	70	2.8	250	238
大西	おおにし	49	52	51	49	56	3.0	213	201
宍人	ししうど	74	69	70	69	73	3.3	323	303
半田	はんだ	76	76	81	78	86	3.2	318	308
口人	くちうど	50	50	49	46	51	2.4	177	162
口司	こうし	47	45	44	46	52	2.8	183	185
摩氣地区		566	553	556	543	612		2,316	2,196
殿谷	とのだに	22	23	22	23	25	3.4	108	101
埴生	はぶ	102	110	108	105	120	2.6	383	360
南八田	みなみはった	51	57	56	55	54	3.3	259	266
天引	あまびき	74	70	80	67	77	2.6	280	257
法京	ほうきょう	16	16	16	15	14	1.7	35	32
大河内	おおかわち	60	65	56	62	82	2.2	196	204
南大谷	みなみおおたに	34	32	36	36	35	2.9	250	285
若森	わかもり	34	34	36	34	37	3.8	164	158
西本梅地区		393	407	410	397	444		1,675	1,663
東本梅地区									
こひつじの苑					35	1.0			
京都太陽の園					39	1.0			
あけぼの学園					91	1.0			
長生園					294	1.0			
園部町合計		4,324	5,208	5,805	5,880	6,392	2.5	15,062	16,251

(注) *①面積合計 3.96km² *①人口合計 2,585人 *①人口密度 652.78人/km² *②面積合計 2.07km² *②人口合計 1919人 *②人口密度 927.05人/km²*③面積合計 4.71km² *③人口合計 1,592人 *③人口密度 338.00人/km² *④面積合計 6.26km² *④人口合計 529人 *④人口密度 84.50人/km²*①面積合計 16.206km² *①人口合計 17,061人 *①人口密度 1,037.5人/km² *②面積合計 102.78km² *②人口合計 166,000人 *②人口密度 1,618.8人/km²*③面積合計 16,776km² *③人口合計 45,27人 *③人口密度 318.8人/km² *④面積合計 1,223km² *④人口合計 1,01人 *④人口密度 81.8人/km²*①面積合計 1,542km² *①人口合計 1,592人 *①人口密度 1,037.5人/km² *②面積合計 34.06km² *②人口合計 1,01人 *②人口密度 29.7人/km²*③面積合計 1,639km² *③人口合計 1,592人 *③人口密度 1,037.5人/km² *④面積合計 9.78km² *④人口合計 1,01人 *④人口密度 103.75人/km²*①面積合計 2,907km² *①人口合計 3,197人 *①人口密度 1,077.5人/km² *②面積合計 2,909km² *②人口合計 3,197人 *②人口密度 1,077.5人/km²*③面積合計 2,907km² *③人口合計 3,197人 *③人口密度 1,077.5人/km² *④面積合計 9.78km² *④人口合計 1,01人 *④人口密度 103.75人/km²*①面積合計 506km² *①人口合計 498人 *①人口密度 98.6人/km² *②面積合計 477km² *②人口合計 477人 *②人口密度 1,000人/km²*③面積合計 136km² *③人口合計 130人 *③人口密度 969人/km² *④面積合計 67.93km² *④人口合計 67.93人 *④人口密度 999人/km²*①面積合計 71km² *①人口合計 60人 *①人口密度 857人/km² *②面積合計 75km² *②人口合計 75人 *②人口密度 1,000人/km²*③面積合計 87km² *③人口合計 85人 *③人口密度 988人/km² *④面積合計 81km² *④人口合計 70人 *④人口密度 875人/km²*①面積合計 88km² *①人口合計 77人 *①人口密度 886人/km² *②面積合計 70km² *②人口合計 70人 *②人口密度 1,000人/km²*③面積合計 969km² *③人口合計 892人 *③人口密度 900人/km² *④面積合計 13.75km² *④人口合計 67.93人 *④人口密度 499人/km²*①面積合計 458km² *①人口合計 407人 *①人口密度 869人/km² *②面積合計 8.16km² *②人口合計 394人 *②人口密度 488人/km²*③面積合計 279km² *③人口合計 262人 *③人口密度 974人/km² *④面積合計 4.36km² *④人口合計 257人 *④人口密度 1,010人/km²*①面積合計 224km² *①人口合計 222人 *①人口密度 999人/km² *②面積合計 1.95km² *②人口合計 195人 *②人口密度 999人/km²*③面積合計 191km² *③人口合計 174人 *③人口密度 1,000人/km² *④面積合計 5.78km² *④人口合計 168人 *④人口密度 26.30人/km²*①面積合計 288km² *①人口合計 267人 *①人口密度 856人/km² *②面積合計 2.41km² *②人口合計 241人 *②人口密度 933人/km²*③面積合計 307km² *③人口合計 2

表I-3-② 南丹市 八木町 の行政区別の人団密度と世帯数・人口の推移

行政区名	(よみがな)	世帯数										人口				
		1965年 (s40)	1970年 (s45)	1975年 (s50)	1980年 (s55)	1985年 (s60)	1990年 (h2)	1995年 (h7)	2000年 (h12)	2005年 (h7)	2010年 (h22)	1世帯あたりの人数	1965年 (s40)	1970年 (s45)	1975年 (s50)	1980年 (s55)
本町1丁目	ほんまち1ちょうめ	116	135	157	156	162	164	188	184	204	193	2.1	404	499	551	554
本町2丁目	ほんまち2ちょうめ	33	31	31	26	25	21	20	20	21	19	2.9	179	140	128	104
本町3丁目	ほんまち3ちょうめ	43	39	39	34	36	36	35	31	31	32	2.8	234	192	175	136
本町4丁目	ほんまち4ちょうめ	55	65	78	81	77	74	74	75	70	75	2.6	249	244	301	291
本町5丁目	ほんまち5ちょうめ	41	48	48	48	37	44	36	32	32	30	2.7	170	201	192	170
本町6丁目	ほんまち6ちょうめ	27	26	27	36	60	71	76	89	101	97	2.4	115	114	113	140
南地区A		315	344	380	381	397	410	429	431	459	446		1,351	1,390	1,460	1,395
栄町1丁目	さかえまち1ちょうめ	63	56	55	51	50	45	47	50	45	45	2.4	266	232	217	198
栄町3丁目	さかえまち3ちょうめ	43	41	43	45	46	44	37	32	35	37	2.9	197	165	158	179
本郷東	ほんごうひがし	27	48	65	133	144	146	147	135	135	146	2.8	116	213	244	483
本郷西	ほんごうにし	22	21	20	19	18	18	18	20	22	27	2.6	90	84	84	72
本郷南	ほんごうみなみ	16	22	22	28	27	22	25	25	26	27	2.4	98	94	91	95
本郷北	ほんごうきた	17	16	21	18	17	17	16	19	23	2.1	73	69	81	74	
南地区B		188	204	226	294	302	292	291	278	282	305		840	857	875	1,101
栄町2丁目	さかえまち2ちょうめ	141	175	215	207	215	216	246	259	263	254	2.2	546	627	746	709
垣内	かいち	17	14	14	13	13	14	15	14	14	14	2.5	81	64	55	57
柴山	しばやま	10	10	11	10	9	9	8	8	10	3.4	58	53	50	46	
南丹病院		56	41	62	63	78	63	74	46	26	1.0		56	41	62	
あけぼの学園						39	46	46	47	48	49	1.0				
南地区C		168	255	281	292	339	363	378	402	379	353		685	800	892	874
北屋賀	きたやが	170	170	180	182	195	194	199	202	212	216	2.6	734	689	723	699
屋賀上	やがかみ		18	25	27	24	27	29	25	25	22	2.3		64	91	103
東地区A		170	188	205	209	219	221	228	227	237	238		734	753	814	802
青戸	あおと	60	64	67	65	63	60	61	61	61	60	3.3	277	263	270	277
西田	にしだ	153	154	171	143	155	149	152	154	160	166	2.9	693	654	646	551
井ノ尻	いのしり				29	33	30	30	26	29	30	2.5				92
観音寺	かんのんじ	33	38	40	44	41	42	42	42	43	44	2.5	180	175	162	177
屋賀	やが	48	45	41	41	42	44	46	47	46	46	2.9	220	195	178	184
東地区B		294	301	319	322	334	325	331	330	339	346		1,370	1,287	1,256	1,281
氷所	ひどころ	112	112	118	128	130	130	123	129	123	133	3.1	550	531	526	512
日置	ひおき	79	76	74	72	71	71	71	73	72	78	2.8	373	332	302	290
刑部	おさべ	43	45	47	46	43	44	48	50	51	50	3.0	221	214	197	197
北広瀬	きたひろせ	51	48	49	49	47	47	48	50	50	50	3.2	241	223	220	214
ヴィラ多国山											25	35	1.1			
東地区C		285	281	288	295	291	292	290	302	317	346		1,385	1,300	1,245	1,213
八木嶋	やぎのしま	89	88	93	91	91	93	96	96	93	95	2.5	442	400	400	387
大藪	おおやぶ	38	42	65	41	44	42	41	44	45	43	3.1	184	176	261	183
折戸	おりど				42	46	41	41	44	45	44	2.3				139
南広瀬	みなみひろせ	35	42	44	43	42	43	51	53	61	67	2.5	174	174	174	180
西地区A		162	172	202	217	223	219	229	237	244	249		800	750	835	889
鳥羽	とば	49	48	47	46	46	45	45	43	42	2.9	248	228	220	220	
玉ノ井	たまのい	14	18	21	21	21	22	19	21	22	2.4	66	75	87	92	
美里	みさと	50	52	51	51	50	50	56	56	55	3.1	273	251	239	235	
室河原	むろがわら	40	41	39	46	44	38	40	43	41	44	2.9	215	190	167	180
木原	きわら	23	24	40	47	49	53	55	53	59	2.8	113	112	162	163	
池ノ内	いけのうち	26	26	25	24	25	25	26	24	29	2.4	129	122	117	104	
西地区B		202	209	223	235	235	234	234	244	238	251		1,044	978	992	994
船枝	ふなえだ	65	61	61	61	60	60	63	66	64	72	3.1	320	294	273	270
山室	やまむろ	49	49	49	50	53	51	49	48	52	49	3.1	244	225	225	218
室橋	むろはし	68	73	68	65	67	70	67	70	72	77	2.9	357	333	301	287
諸畠	もろはた	67	66	63	63	64	64	67	66	72	73	3.5	322	304	316	287
野条	のじょう	40	41	44	44	43	45	46	52	48	47	3.3	189	186	177	176
池上	いけがみ	44	44	44	46	45										

表I-3-③ 南丹市 日吉町 の行政区別の人団密度と世帯数・人口の推移

行政区名	(よみがな)	世帯数											人口				
		1960年(s35) A	1965年(s40)	1970年(s45)	1975年(s50)	1980年(s55)	1985年(s60)	1990年(h2)B	1995年(h7)	2000年(h12)	2005年(h17)C	2010年※(h22)	1世帯あたりの人数	1960年(s35)	1965年(s40)	1970年(s45)	
殿田上	とのだ かみ	185	187	173	160	147	135	157	175	195	212	87	2.1	804	741	637	
殿田下	とのだ しも											84	2.8				
木住	こずみ	48	47	46	44	43	42	42	41	40	43	46	3.2	236	224	202	
生畑	きはた	78	74	69	65	62	60	59	58	61	53	61	2.8	357	310	247	
中世木	なかせき	83	82	71	66	63	59	55	55	54	52	55	2.8	367	335	267	
中	なか	38	35	32	31	31	30		17	—	—	—	—	177	154	132	
上天若	かみあまわか	62	59	60	57	55	45		37	—	—	—	—	311	254	220	
下天若	しもあまわか	62	60	58	59	61	56		71	—	—	—	—	289	266	229	
世木地区合計		556	544	509	482	462	427	350	417	350	360	333		2,541	2,284	1,934	
田原駅前	たわらえきまえ	34	35	39	39	39	37	34	36	30	32	31	2.6	140	138	139	
片野	かたの							74	79		96	58	2.6				
ウェルビュービレッジ		38	37	37	62	72						85	9	2.7	165	170	159
片野団地	かたのだんち											19	18				
新シ	あたらし	32	34	29	29	30	31	30	30	29	31	33	2.5	167	165	136	
和田	わだ	36	35	35	34	34	47	33	33	31	30	37	3.1	168	152	146	
殿	との	117	122	125	136	143	131	134	135	140	143	166	2.8	585	556	548	
田原地区合計		257	263	265	300	318	339	328	330	322	321	351		1,225	1,181	1,128	
吉野辺	よしのべ	19	19	17	17	17	16	15	15	17	15	19	1.9	72	76	53	
中組	なかぐみ	61	56	50	48	46	45	40	42	43	43	43	2.6	255	214	181	
海老谷	えびたに	42	38	33	33	33	32	31	28	29	26	27	2.0	199	164	130	
東組	ひがしごみ	59	57	55	52	52	51	51	51	49	50	58	2.2	289	261	228	
下佐々江	しもささえ	33	32	29	28	25	25	24	26	25	24	25	1.6	132	119	100	
中佐々江	なかささえ	54	50	43	43	43	41	39	36	32	33	35	2.1	241	210	178	
上佐々江	かみささえ	34	31	31	30	30	29	28	28	32	29	30	2.3	171	154	133	
四ッ谷 佐々江合計		302	283	258	251	246	239	228	226	227	220	237		1,359	1,198	1,003	
東胡麻	ひがしごま	75	75	76	80	82	83	72		87	98	85	94	2.7	375	367	343
はぎの里												74	1.0				
西胡麻駅前	にしごまえきまえ																
栄ヶ丘	さかえがおか																
角本	つのもと																
中村	なかむら																
中野辺	なかのべ																
イングランドヒルズ																	
新町	しんまち																
後野	この																
日吉平	ひよしたいら																
胡麻莊園	ごまそうえん																
上胡麻	かみごま																
広野	ひろの	152	156	156	170	178	90	87	236	96	258	124	2.6	730	701	662	
畠郷	はたごう											93	106				
胡麻地区合計		517	507	500	524	542	560	565	696	805	836	984		2,443	2,298	2,119	
上保野田	かみほのだ	46	45	42	41	58	60	68	133	95	108	58	2.8	208	187	162	
下保野田	しもほのだ	81	77	79	72	69	69	106	98	110	103	95	2.7	347	307	299	
志和賀	しわが	96	90	85	86	85	83	79	81	85	85	101	2.8	461	416	395	
保野田 志和賀合計		223	212	206	199	212	212	253	312	290	296	254		1,016	910	856	
日吉町合計		1,855	1,809	1,738	1,756	1,780	1,777	1,724	1,981	1,994	2,033	2,159	2.6	8,584	7,871	7,040	

(世帯数・人口は、国勢調査より) (※ただし、1975年ならびに、2010年(8月1日現在)住民基本台帳より)

行政区名	(よみがな)	人口											面積(km ²)E	人口密度(2005年)(人/km ²)D/E	高 中 低	世帯の増減率		人口の増減率	地域 類型
		1975年(s50)	1980年(s55)	1985年(s60)	1990年(h2)	1995年(h7)	2000年(h12)	2005年(h17)D	2010年(h22)	1960~2005年C/A	1990~2005年B/C	1990~2005年				1960~2005年C/A	1990~2005年B/C		
殿田上	I	564	538	490	505	509	519	476	184	3.64	130.77	中	114.6	増	1.35	増	0.94	I	殿田上
殿田下	V								234			中							殿田下
木住	III	199	180	165	172	165	159	153	145	3.36	45.54	低	89.6	横</					

表 I-3-④ 南丹市 美山町 の行政区別の人団密度と世帯数・人口の推移

(世帯数・人口は、国勢調査より) (※ただし、1961から1985までおよび2010年は住民基本台帳より)

行政区名	(よみがな)	世帯数										人口		
		1961年 (s 36) A	1975年 (s 50)	1980年 (s 55)	1985年 (s 60)	1990年 (h 2) B	1995年 (h 7)	2000年 (h 12)	2005年 (h 17) C	2010年 (h 22) ※ 1世帯あたりの人数	1961年 (s 36)	1975年 (s 50)	1980年 (s 55)	
南	みなみ	21	26	24	26	26	24	22	22	23	2.3	110	103	97
北	きた	55	50	48	46	44	43	46	44	45	2.4	263	191	178
中	なか	53	56	53	54	65	60	58	61	60	2.9	218	192	192
河内谷	かわちだに	24	23	20	19	17	17	17	17	18	2.1	125	91	73
下	しも	22	26	29	27	27	30	33	32	44	1.9	127	105	107
知見	ちみ	44	42	38	34	32	35	31	31	33	2.0	208	138	121
江和	えわ	43	39	39	39	35	33	39	37	44	2.0	204	135	117
田歌	たうた	30	28	27	27	30	29	27	31	32	2.5	183	109	89
芦生	あしう	26	27	19	22	26	26	28	23	26	2.4	112	96	75
白石	しらいし	6	6	3	3					2		30	13	6
佐々里	ささり	24	20	20	21	24	20	20	15	14	3.9	146	87	70
知井地区合計		348	343	320	318	326	317	321	313	341		1,726	1,260	1,125
又林	またばやし	21	16	15	15	15	15	16	19	20	2.5	81	67	69
下平屋	しもひらや	49	44	41	41	42	41	47	43	58	2.2	193	166	154
上平屋	かみひらや	64	61	62	62	62	64	63	62	61	2.6	250	215	206
安掛	あがけ	58	56	54	54	56	55	54	50	52	2.9	226	217	203
野添	のぞえ	37	36	35	34	35	35	40	37	35	3.1	155	139	118
長尾	ながお	25	16	20	19	18	17	17	23	24	2.2	90	60	60
深見	ふかみ	23	22	22	21	21	20	19	19	18	2.2	83	76	70
荒倉	あらくら	26	22	21	22	20	20	19	19	18	2.6	112	74	82
大内	おおうち	24	21	22	24	22	24	24	26	33	2.3	117	79	79
内久保	うちくぼ	37	35	33	35	35	39	37	40	49	2.2	188	170	146
平屋地区合計		364	329	325	327	326	330	336	338	368		1,495	1,263	1,187
原	はら	44	43	41	42	37	70	41	39	41	3.2	202	158	159
板橋	いたはし	38	32	32	30	27	28	35	36	42	2.7	154	112	114
宮脇	みやのわき	30	27	25	24	25	29	24	28	31	2.4	132	95	81
下吉田	しもよしだ	24	24	24	23	20	22	22	21	25	1.7	118	86	79
島	しま	60	51	50	48	43	47	53	53	82	2.6	239	199	169
長谷	ながたに	54	50	50	51	51	50	48	54	54	2.8	248	205	188
上司	じょうし	24	20	22	21	21	21	20	19	20	2.3	100	78	77
和泉	いすみ	74	83	85	88	102	108	106	102	99	2.9	319	302	305
静原	しずはら	75	81	72	78	89	80	71	76	73	2.5	312	278	249
宮島地区合計		423	411	401	405	415	455	420	428	467		1,824	1,513	1,421
今宮	いまみや	11	10	8	8	9	9	9	9	9	3.1	48	39	33
柄原	とちはら	29	25	26	25	26	27	25	25	25	3.1	151	119	108
砂木	すなぎ	36	29	29	28	31	32	34	39	43	2.6	190	113	116
棚	たな	28	28	28	27	25	27	27	23	25	2.6	151	117	101
川合	かわい	34	30	23	23	20	25	25	22	19	2.5	125	104	86
殿	との	43	37	37	39	38	37	39	34	35	3.5	196	152	139
舟津	ふなつ	10	10	10	10	10	11	16	11	12	3.1	57	40	42
松尾	まつお	25	22	20	21	21	21	23	18	20	2.3	133	98	80
神谷	かんだに	20	15	15	14	14	15	15	13	17	2.1	88	59	62
名島	なしま	16	10	11	10	10	10	12	12	13	2.3	67	44	41
洞	ほら	35	32	31	32	30	30	28	29	30	2.5	158	124	117
田土	たど	24	20	19	18	20	19	19	20	20	3.1	112	80	76
上吉田	かみよしだ	22	18	18	17	18	16	15	15	17	2.6	102	71	67
林	はやし	17	11	10	11	11	11	12	11	12	2.3	71	45	46
庄田	しょうだ	17	13	12	11	11	11	10	11	10	2.4	71	37	31
脇	わき	13	9	9	8	11	11	12	11	14	2.1	54	36	32
熊壁	くまかべ	20	17	17	17	16	15	15	15	15	2.3	95	57	48
山森	やまもり	16	16	15	14	14	13	12	11	2.7	85	57	47	
鶴ヶ岡地区合計		417	352	338	333	335	341	349	330	347		1,954	1,392	1,272
萱野	かやの	18	20	19	20	19	17	18	19	21	3.2	87	89	84
大野	おおの	96	87	88	85	83	77	81	84	88	2.7	381	324	317
川谷	かわだに	45	45	43	43	36	36	35	38	33	3.4	194	142	144
岩江戸	いわえど	57	48	45	46	45	46	45	41	42	2.8	236	174	147
肱谷	ひじたに	32	30	31	28	27	25	25	23	24	2.9	135	103	115
小渕	おぶち	33	29	32	84	34	39	48	42	137	1.4	137	99	105
向山	むかいやま	24	24	22	21	20	19	22	21	23	3.0	119	98	93
櫻原	かしわら	45	30	27	28	29	29							

このように、南丹市における戦後の歴史的な変化は、①中山道・鯖街道沿いの市街地と商店街、城下町の住宅地（I・II）、②農村集落（V）と③山村集落（VI）の大きくは三つの特徴を持っていた。そこに、④バブル期以降からの住宅開発による新興住宅地（主に一戸建て）（IV）、⑤高速道路開通やダム着工以降による農村の宅地化（一戸建てとアパート含む）（II）が加わって現在に至っていることが理解されよう。

なお、参考までに、これら変化の様相を形作ってきた旧4町の主な特徴としては以下の通りである。

（1）周囲に農村や山村集落をかかえる一方、開発の進む地域をかかえる園部

八木の西隣に位置する園部の交通網は、八木から続く、国道9号、鉄道及び京都縦貫自動車道、及び亀岡から兵庫県篠山市に続く国道372号が中央を横断している。江戸時代には小出氏の統べる園部藩の城下町として栄えた。加えて、八木と同じく、山陰街道及び篠山に抜ける篠山街道の宿場町を抱える一方、材木を流す大堰川の利用、園部川を含む利水による稻作も盛んであった。近年は、工業団地の開発や工場誘致、大学の誘致など大型の公共事業がすすめられる一方住宅開発も活発であった。これに伴い製造業、小売業およびサービス業、農業などの従事者割合が高く、雇用労働者の割合も7割を超えて高い。女性労働者の割合はほぼ全国平均と一致している。

障害者施設や高齢者の施設整備は早期に進んでいる。しかし、新興住宅地などでは住民活動はほぼ皆無である。

園部は戦後一貫して世帯数が増加しているが、人口については高度経済成長がはじまる1955年以降徐々に減少していった。しかし、バブル以降に世帯数人口共に増加傾向に転じている。世帯数の増加の要因は65才以上の単身世帯並びに夫婦世帯などであり、「夫婦と子どもと親」といった三世代の世帯などは減少している。

（2）亀岡に隣接する都市近郊農村である八木

八木は南丹市の最南端に位置し、山陰道沿いの街道沿いの宿場町と、桂川へと丹波の材木を流す大堰川およびその水流を利用した水田地帯を擁する農村とによって形成されてきた歴史を持つ。現在では、工場誘致に伴う製造業、小売業および農業、南丹病院に勤務する医療従事者と介護福祉労働従事者などとなっている。全体として15才以上の就業者数は減少傾向にあり、雇用労働者の割合は66.3%（平成17年度国勢調査結果）と全国の78.6%と比較すると著しく低い割合であるが、働く女性の割合は1930（昭和50）年から一貫して4割を超えて高い割合となっている。

主な交通網は、1899（明治32）年に京都一園部間の鉄道が開通した。また、1963（昭和38）年には、烏丸五条を起点とする新国道9号の竣工がなされ、その後園部方面にも徐々に舗装化が進む。1988（昭和63）年には京都市西京区を起点とする京都縦貫自動車道が千代川インターまで開通し、1996年（平成8）年には丹波まで延伸されている。一方、八木の世帯並びに人口は、戦後行動経済成長期に人口減少は徐々にではあるが進んでいる。これが、高度経済成長の終焉とともに世帯数の増加と反比例して人口減少が加速する。特に80年以降は人口減少が顕著で（1980年10802人が2005年は8069人）、特にバブル以降は減少に加速がかかっている。世帯数はバブル以降ほぼ横ばいである。1995（平成7）年以降の世帯構成の変化としては、「夫婦と子どもと親」といった三世代の世帯の減少が著しく（23.9%から16.8%）、65才以上の単身（54.2%の増加）及び夫婦世帯（49.6%の増加）の増加割合が高い。

（3）新興住宅地と農村の混在する日吉

南北を園部と美山にはさまれ、東西を京北と京丹波に挟まれた町。鉄道と府道19号と50号が幹線道路となっている。旧山陽道の鉄道線沿いに点在する街道町と美山・京北よりの林業・農村集落（僻地）が点在している。一方、平成に入り淀川水系の多目的ダムとして日吉ダムの建設が計画化され、1972（昭和47）年に着工、1997（平成9）年に竣工している。ダムにより188世帯が水没した。これら世帯は日吉町内と園部、その他の地域（京都市内など）に転居している。また、イングランドヒルズやビルビュービレッジといった名称での宅地の開発などもすすめられている。1983（昭和58）年に明治鍼灸大学が開学され、徐々に施設の拡充が進み、2008（平成20）年には明治国際医療大学として大学名を変更し千人弱の学生が在籍している。この大学には付属病院も付設されており、住民にとって身近な医療機関としての存在を確立している。

旧市街地を中心に民生委員・児童委員などによる地域活動、ボランティアによるサロン活動が進んでいる。

一連の住宅開発により、夫婦と子どもの世帯など世帯数は増加し、人口も横ばい傾向になっているが。林業、農業（酪農含む）は衰退傾向にある。

（4）自然豊かな山村・農村の美山

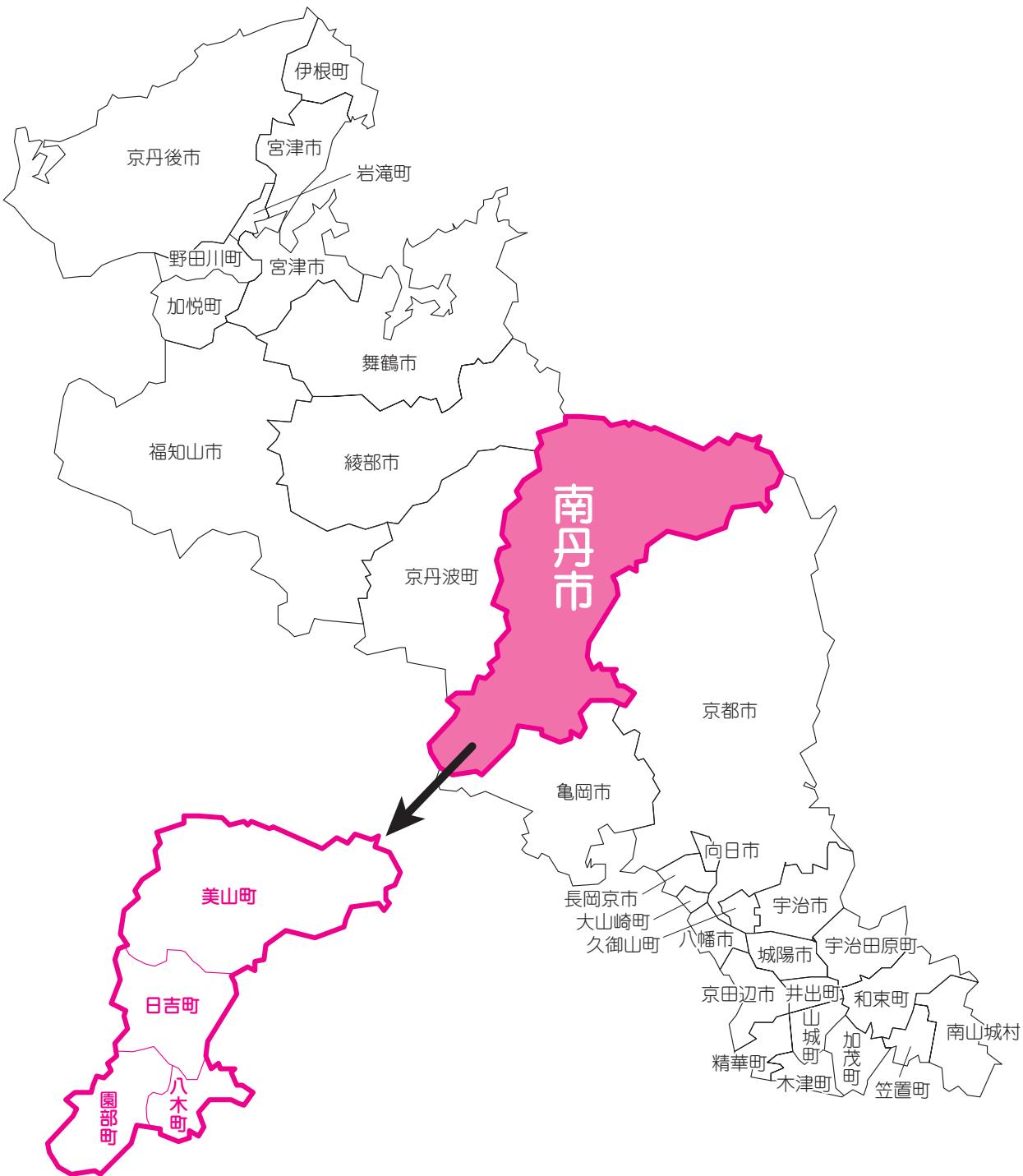
美山は合併により京都市となった京北町の及び日吉町の北に位置し、由良川の源流沿いに多くの集落を擁する広大な町である。町中央の九鬼が坂峠で完全に二分されており、中央を抜ける国道162号は一方は京北周山へ、もう一方は福井県名田庄へと続いている。由良川沿いには大野ダムと、その脇を通る府道が整備されており京丹波町と続いている。大野ダムは、福知山市や大江町などの治水用として昭和18年に起工、昭和36年に竣工している。水没集落はない。鉄道は通っておらず、公共交通機関はバスのみである。冬は雪深く、いくつかの道は通行ができない。94.2%を山林が占め、農用地はわずか1.8%にすぎない。1960年をピークに世帯・人口共に減少した地域であるが、自治活動の活発な地域として注目されている。

戦前から戦中戦後にかけてマンガンの採掘もなされたが、家族経営による採掘であった。戦中は朝鮮からの強制労働者も多く、じん肺問題も発生している。戦後には公民館運動が活発となり、朝鮮人労働者の地域受け入れや女性運動の核となった。このような住民の活動は、地域振興会などを核に、近年様々な村づくりの活動としてすすめられている。

古くより主な産業は専ら林業特に炭焼きを中心としていたが、石油に取って代わられた。また、外材により林業は不振となっていた。一方圃場整備が進むに従い農業は徐々に拡大したが耕地面積と担い手の老化でこれも徐々に低下している。道路やダムなどの公共事業と中小の工場による製造業も低迷状態である。日雇い林業従事者や日雇い土木従事者の低賃金問題は高度経済成長以前から深刻となっていた。人口流出の背景にはこのような労働者の流動もある。近年は、かやぶき屋根の里などによる観光産業が活発である。

雇用労働者の割合は6割を切って低い割合であるが、女性労働者の占める割合は4割を超え高い。また世帯構成では65才以上の単身、夫婦世帯で36%を占めている。

図 I-6 京都府における南丹市の位置



4. 調査の方法—調査員による訪問対話を通じて、くらしの声を聴き取る

今回調査では、郵送によるアンケート調査ではなく、調査地域に選定した地域の全世帯を一軒一軒訪問し、調査の目的や趣旨を説明し協力をもらう「訪問聴き取り調査」の方法で実施した。訪問した世帯数は958件、回収数は823で回収率は85.6%であった(表I-4)。拒否や留守の多い地域などは、地域の特徴をあらわしているといえる。

なお、訪問に際しては、各調査地域で、区長・自治会長の皆さんにより、事前のお願い文書の配布などしていただいた。

訪問は、基本的に午前中から午後7時までをめどとし、1軒あたり30分から1時間かけての聴き取りとした。しかし、日中働いておられる家庭や変則勤務の方もおられることから、早朝から夜間、いつでも伺う体制で臨んだ。調査にあたった調査員には暑いさなか何度も訪問したり、お願いの文章を投函したり、ことづけをお願いするなど、努力を惜しまず獅子奮迅の活躍であった。

表I-4 回収状況

地域 類型	地 域 名	対象 数	拒否	拒否率	留守 等	拒否等 合計	合計	回収率	回収 合計	訪問 数	訪問 件数
日 吉	Ⅳ イングランドヒルズ	94	17	18.1%	5	22	72	76.6%	204	94	235
	Ⅴ 生畑	47	0	0.0%	1	1	46	97.9%		47	
	Ⅱ 殿田	68	3	4.4%	5	8	60	88.2%		68	
	Ⅴ 上佐々江	26		0.0%		0	26	100.0%		26	
八 木	Ⅱ 北屋賀	163	25	15.3%	20	45	118	72.4%	191	163	241
	Ⅰ 本町・栄町	75	3	4.0%	2	5	73	97.3%		78	
美 山	Ⅵ 福居地区(庄田、脇)	40	4	10.0%	3	7	33	82.5%	195	40	210
	Ⅵ 豊郷地区(名島、神谷)	51	1	2.0%	2	3	48	94.1%		51	
	Ⅵ 知見地区	25	1	4.0%	2	3	22	88.0%		25	
	Ⅲ 江和・田歌	64	1	1.6%	5	6	58	90.6%		64	
	Ⅵ 芦生・佐々里・白石	35	1	2.9%		1	34	97.1%		30	
	Ⅰ 本町	52	1	1.9%		1	51	98.1%		51	
園 部	Ⅲ 横田	158	19	12.0%	8	29	131	82.9%	233	158	272
	Ⅴ 黒田	63	8	12.7%	4	13	51	81.0%		63	
	合 計	961	84	8.7%	57	144	823	85.6%		823	958

5. 調査員の編成と事前の学習

訪問聞き取り調査は、実際に訪問する調査員が、事前の学習内容とどのように取り組んだかによって大きく左右される。今回調査に取り組むにあたっては、現地社会福祉協議会内部にプロジェクトチームを組織し、調査の検討と学習会を重ねたこと、学生については集団での学習を基本に、調査までに4回の学習会を実施した。また、現地の社会福祉協議会の職員については業務研修含めて4回の学習会を実施した。学習内容の詳細については以下の通りである。

なお、学生の調査員については、社会福祉を学んでいる学生を中心に呼びかけ、そのうち調査の目的・課題を理解し、調査への熱意をもつ学生を対象としている。(新聞記事参照)



• 職員学習会（場所はいずれも南丹市内）

- (1) 第1回研修会（2011（平成23）年4月17日）
 - ・南丹市の地域の特徴と地域福祉
 - ・地域福祉活動指針計と地域福祉活動について
- (2) 第2回（2011（平成23）年5月13日）
 - ・「生活問題調査の視点と枠組み」
(三塚武男著『生活問題と地域福祉』ミネルヴァ書房)に学ぶ
 - ・大牟羅良『ものいわぬ農民』岩波新書を調査論として読む

(3) 第3回（2011（平成23）年6月10日）

- ・「生活問題調査の視点と枠組み」

(三塚武男著『生活問題と地域福祉』ミネルヴァ書房)に学ぶ

- ・これまでの調査の結果から学ぶ

(4) 第4回（2007（平成19）年7月15日）

- ・調査の開始にあって一調査票（調査内容の全体像）と「訪問対話のポイント」について

• 学生学習会

(1) 第1回研修会（2011（平成23）年5月25日）

- ・南丹市の地域の特徴と地域福祉
- ・地域福祉活動指針計と地域福祉活動について

(2) 第2回（2011（平成23）年6月22日）

- ・大牟羅良『ものいわぬ農民』岩波新書を調査論として読む

(3) 第3回（2011（平成23）年7月13日）

- ・調査の開始にあって一調査票（調査内容の全体像）と「訪問対話のポイント」について

(4) 第4回（2011（平成23）年7月27日）

- ・調査の開始にあって一調査票（調査内容の全体像）と「訪問対話のポイント」について

これら学習会に参加し、また、調査当日、連日奮闘してくれた学生調査員36名は以下のメンバーである。なお、調査には、社会福祉協議会の職員77名も一調査員として参加した。
(表I-5)

表I-5 調査参加した学生など

氏名	所属	学年	氏名	所属	学年
川瀬 達也	大谷大学	4年	柘植 茜衣	大谷大学	3年
河野 晴菜	大谷大学	4年	長峰 彩香	大谷大学	3年
小柳 琢也	大谷大学	4年	能世 浩史	大谷大学	3年
笹川 あゆみ	大谷大学	4年	松田 亜希子	大谷大学	3年
高橋 寛久	大谷大学	4年	安田 優衣	大谷大学	3年
富山 翔太	大谷大学	4年	上嶋 菜芳	大谷大学	3年
巻幡 俊論	大谷大学	4年	新木 優里菜	大谷大学	2年
二宮 周予	大谷大学	4年	福田 都美果	大谷大学	2年
川嶋 真名美	大谷大学	4年	藤村 尚史	大谷大学	2年
福家 朝香	大谷大学	4年	大岡 紀恵	大谷大学	2年
牧野 瑛梨香	大谷大学	4年	木田 雄輝	大谷大学	2年
谷口 健史	大谷大学	3年	下田 総久子	大谷大学	2年
吉田 知子	大谷大学	3年	萬木 宏哉	大谷大学	2年
銭谷 早紀	大谷大学	3年	瀧山 さおり	大谷大学	2年
中野 百恵	大谷大学	3年	山本 菜々	大谷大学	2年
森田 奈菜子	大谷大学	3年	土屋 藍	大谷大学	2年
大谷 麻実	大谷大学	3年	平尾 美樹	大谷大学	2年
河北 亜矢加	大谷大学	3年	渡辺 裕巳	京都市上京老人福祉センター	

(学年・所属は調査時点のもの)